

談話会『第4回企業における音響技術の研究開発』のお知らせ

主催目的：関西には、音響・音声に関係する企業、研究機関、大学研究室が数多く存在し、音響学会関西支部の活動を支えている。本談話会では、企業の方が携わる音響・音声に関する取り組み（音響処理技術/音声処理技術/音響機器/音声サービス/対話技術などの研究・開発・生産・販売）を学生や教員、他企業の方に紹介し、談話し合う。これにより、大学、企業、学会の交流を図り、音響分野を盛り上げていくとともに、今後活躍する人材創出のきっかけとしたい。

日程：2018年6月5日（火）

第1部 談話会：13:00～17:15

第2部 懇親会：17:45～19:45

幹事情報：パナソニック株式会社 西川 剛樹 nishikawa.tsuyoki@jp.panasonic.com

申込フォーム

※参加希望の方は下記申込フォームのフォーマットで、

幹事（西川：nishikawa.tsuyoki@jp.panasonic.com）宛にご連絡下さい。

第1部 談話会：（出席／欠席）

第2部 懇親会：（出席／欠席）

詳細

第1部 談話会：13:00～17:15

場所：パナソニック企業年金基金 松心会館 32A・B 会議室（大阪府門真市中町 1-19）

<http://nenkin.jpn.panasonic.com/kaikan/map/map.html>

タイムテーブル：

- | | | |
|-------------|--|-------------------|
| 13:00-13:05 | 「談話会趣旨説明」 | 西川 剛樹（パナソニック株式会社） |
| 13:05-13:45 | ①「オーディオ・音声処理のためのX M O Sハードウェア／ソフトウェア・プラットフォームのご紹介」 | 大川 崇（XMOS 合同会社） |
| 13:45-14:25 | ②「みなと補聴器 マンツーマンの音作り」 | 倉岡 大輔（みなと補聴器） |
| 14:25-14:45 | 休憩&懇親 | |
| 14:45-15:25 | ③「トンネル工事作業音対策に用いる防音材料の開発」 | 高田 重隆（弘進商事株式会社） |

- 15:25-16:05 ④「小形スピーカのシミュレーション」
宮倉 隆志 (ホシデン株式会社)
- 16:05-16:25 休憩 & 懇親
- 16:25-17:05 ⑤「パートナーロボット開発における対話技術の取り組みについて」
高谷 智哉 (トヨタ自動車株式会社)

第2部 懇親会：17:45～19:45 ※要申し込み

場所：パナソニック企業年金基金 松心会館 大広間② (予定) (大阪府門真市中町 1-19)

<http://nenkin.jpn.panasonic.com/kaikan/map/map.html>

会費：4,000 円～5,000 円 (予定)

講演概要

- ① タイトル：オーディオ・音声処理のための X M O S ハードウェア／ソフトウェア・プラットフォームのご紹介
講演者：大川 崇 (XMOS 合同会社)
概要：XMOS 社のフィールド・ボイス・プロセッサ-VocalFusion(TM)「XVF3000」は、MEMS アレー・マイクを利用して遠くからの音声入力を可能にする、優れた音声信号処理技術を搭載しています。本プロセッサは、高性能で柔軟性の高い xCORE マイクロコントローラ・アーキテクチャーがベースとなっています。本発表では、XVF3000 と xCORE ハードウェア及びユーザー・ソフトウェアが実装可能なソフトウェア・プラットフォームについてご紹介いたします。
- ② タイトル：みなと補聴器 マンツーマンの音作り
講演者：倉岡 大輔 (みなと補聴器)
概要：補聴器の効果を最大限に引き出すコンサルティング、フィッティング、音楽用イヤモニターの製作、対面サービスにこだわり一人ひとり違う耳穴形状に合わせたフィッティング、取り組みをご紹介します。
- ③ タイトル：トンネル工事作業音対策に用いる防音材料の開発
講演者：高田 重隆 (弘進商事株式会社)
概要：トンネル発破音対策に用いる防音扉、土木作業音対策に用いる防音材料の開発の過程と商品化のよもやま話し。
- ④ タイトル：小形スピーカのシミュレーション
講演者：宮倉 隆志 (ホシデン株式会社)
概要：スマートフォンに内蔵される小形のスピーカにおいては設計・開発のリードタイムを短縮することが重要と なってきています。そこで弊社で行っているシミュレーションを用いた小形スピーカの開発支援を紹介します。
- ⑤ タイトル：パートナーロボット開発における対話技術の取り組みについて
講演者：高谷 智哉 (トヨタ自動車株式会社)
概要：本稿では、弊社パートナーロボットの開発における音声対話技術・音響信号処理の取り組みについてフォーカスをあててご紹介する。